

解 答

一

問一 オ

問二 エ

問三 エ・オ

問四 I カ II ウ

問五 情報技術のなかにしきけをつくることによって、人びとの欲望を決める自由時間をつかまえるため。

問六 ウ

二

問一 A イ B エ D ウ

問二 ① イ

② a エ b ク c ア d カ e コ f キ

問三 エ

問四 オ

問五 膝の怪我や水泳についてのことなど人に話したくない花香の個人的な悩みに首を突っこみ、お節介をする態度。

問六 イ

三

① 臨時 ② 支給 ③ 簡易 ④ 縮小
⑤ 高層 ⑥ 裁〔つ〕 ⑦ 拝〔む〕 ⑧ 厳〔かな〕

解 説

一 出典は、石田英敬「自分と未来のつくり方」。

問一 基本的な接続語の問題です。前後の文のつながりを丁寧に読み取り、順接と逆接の働きをまずはしっかりとつかみましょう。

問二 ここで言っている「欲望」とは、どのようなものかを考えます。——線Iの次の段落では、ご飯を食べなくてはいけないといったような、生きていく上で絶対に欠かせない必需品を手に入れたいと思うことではなく、それ以上のものをもっと欲しいと望む気持ちが欲望であると説明されています。よってイは適当ではありません。そして6段落では、自分で欲しいと思っているものも、実は「メディアによってつくられた欲望」だと述べられているので、この部分と同じ内容のエが答えになります。アの「実際に買うことはできないだろうと思いながらも」は本文中に書かれていないので×、ウは「本当は好みでないもののだが」が×です。本文では、「たしかに、欲しいと思っているのは本当」で、欲しいと思っているのは「自分の意志や好みだと感じて」いると書かれていました。ですからオも×です。

問三 アの「自分にも似合いそう」というのは、みんながいいと言うことにつられているのではなく自分自身の意志なので、適当ではありません。「評判」や「うわさ」によっていいと感じているエとオが答えでしょう。

問四 対義語の組み合わせは、「模倣」と「創造」、「利益」と「損失」、「消費」と「生産」。労働時間と自由時間を表す組み合わせですから、Iには「生産」、IIには「消費」があてはまります。

問五 「産業」が「攻勢」をかける目的は、——線3の直後に「この時間が、人びとの欲望を決めるから」と書かれています。つまり、自由時間が欲望を生み出し、それがお金を生み出すからだ、ということです。ですから、「人びとの（自由）時間をつかまえる」「みんなの（自由）時間の使い方をコントロールしようとする」ために、産業は自由時間に攻勢をかけてきます。人びとの時間をつかまえるためには、「メディアをはじめとする情報技術」が大きな役割をなっているので、「攻勢」をかける方法としては「産業の側は、情報技術のなかにいろんなしきけをつく」ることになります。

問六 ——線4の後に続く部分をよく読みましょう。テレビ番組は、視聴者の意識に対して働きかけるチャンスを与えたものでした。ですから「テレビ局」は、視聴者の意識を「コカ・コーラ」のようなスポンサー企業に売っています。そしてメディアの市場で意識を買い取ることは、実際の市場での取引にも重要な効果を及ぼします。つまり「コカ・コーラ」は、テレビ番組を通じて視聴者の意識に働きかけることにより商品を売りあげているのです。「テレビ局」は、「コカ・コーラ」がたくさん売れるようになるために、視聴者の意識を「コカ・コーラ」に売っているのだ、と言うことができますね。

二 出典は、堂場瞬一「少年の輝く海」。

問一 語句の意味を問う問題です。正確な言葉の意味を知らないと、選択肢で間違えてしまう可能性が高く、小学生には難しい問題かもしれません。日頃から言葉に興味を持ち、出会った語句の正確な意味をつかむように心がけておくことが必要です。

問二 慣用句の問題も、一時に覚えるものではないので、日々の学習が肝要です。その意味だけでなく、使い方も正しく覚えておきましょう。

問三 ——線1の4行前で、村営プールの話を出したとたんに「急に空気が冷えるのを僕ははっきり感じた」とあります。前書きや本文全体からも、事情を抱えて泳ぐことから遠ざかっている花香は、水泳に関する話をされることを嫌がっていることがわかりますね。この島の中では、同じ山村留学生の浩次は花香にとって話がしやすい相手のようですが、それでも水泳の話はされたたくないのです。

問四 ——線2の直前に注目します。「さりげなくいこう。花香には、むきになつていると思われたくない。だからいつも通りのパターンを守ることにして」とありますから、これとそっくりなオを選びます。「僕」がいつも行く堤防には、「花香もよく姿を見せる」（「必ず」ではないのでウはX）ので、「今日も、上手くいければ会えるかもしれない」と思い、いつものように堤防に向かったのです。いつも通りの行動なので、時間稼ぎをしているわけではなく（イ＝X）、また、花香に会えたら「また話をしてみよう」と思っていますから、エもXとなります。堤防に来た時の花香は、「何をするわけでもなく、堤防の上に座ってぼんやりと海を眺めているだけ」なので、アも間違っています。

問五 「この島の人」の代表例は「計」のようです。「すぐに首を突っ込んでくる。お節介ばかりして」点が、「この島の人」のようだと花香は言っているので、具体的に浩次がどのように花香にお節介を焼いたのか説明します。「何か気に食わないことがあるのはお前の勝手だけどさ、理由を教えてもらわないところちだつて困るよ。何だか、俺だけ空回りして馬鹿みたいじゃん」という言葉に表れているように、花香が泳ぐのは良いことだと思っている浩次は、泳ごうとしない花香の個人的な事情に立ち入ろうとしています。そのような態度について花香は「お節介」だと感じ、「あんただつて、人に知られたくないことはあるでしょう」と返していました。花香は、自分の悩みを打ち明けたくないのです。そういう浩次のお節介な態度をまとめて答えましょう。

問六 花香の頑なな態度に腹を立てた浩次の心ない言葉が、花香を傷つけ泣かせてしまいました。花香の涙を見た浩次は、ショックを受け、大変焦ったことでしょう。花香を泣かせてしまった浩次の気持ちを想像してみてください。